

講義名	経済史	授業形態	
担当教員	亀井 大樹	開講期・曜日・時間	前期 火曜日 3 時限
		単位数	2
		履修開始年次	2 年生
		ナンバリング・コード	ECN263

主題と概要

グローバルゼーションとはヒト・モノ・知識が国境を越えてやりとりされる現象をさします。われわれの一日の生活を振り返ってみても、グローバル化の恩恵を受けています。例えば皆さんが着ておられる衣服を考えてみましょう。国内市場や国民生活にどのくらいの輸入品が浸透しているかを示す指標である輸入浸透率は2021年衣類の統計データは98.2%でした。畏怖を恐れず言うと、皆さんがお召しになっているほぼ全員の服は輸入品であるといえます。世界がグローバル化することで、安価で品質のよい商品を交換し、人々の生活を水準向上させてきたといえるでしょう。

しかし歴史的に考察すると、グローバル化は決して自明の理ではなく、恩恵とともに弊害もあったことは事実です。近年ではロシアによるウクライナの侵攻や米中のデカップリングなどにみられるように新・東西対立に発現しています。今後どのように世界経済や日本経済は推移していくのでしょうか。

本講義は歴史とグローバルゼーションを手がかりに、日本経済のあり方を振り返ってみようというのが狙いです。本講義を受講することで今後の経済のあり方を歴史的観点から考察する癖を養い、「社会人」としての経済史に関する「教養」を身につけます。歴史的に考察するという視点は就職活動の会社研究や業界研究にも生かせるはずです。

到達目標

- 【第1段階】 意欲・態度に関する目標
- 目標1 歴史に好奇心を持ち、歴史を学ぶことが楽しいと感じる。
 - 目標2 歴史を学ぶことが将来有用であることに気づく。
 - 目標3 自ら図書館等へ出かけ、経済の歴史を調べる。
- 【第2段階】 知識・表現（基礎）に関する目標
- 目標4 高校世界史や高校日本史の歴史用語、概念を説明できる。
 - 目標5 1500年から2020年までのグローバル経済の歴史、日本経済の歴史に関する時間軸を構築できる。
 - 目標6 現代のグローバル経済や日本経済は過去から連続性の上にあることを認める。
- 【第3段階】 知識・表現（応用）に関する目標
- 目標7 経済の歴史を学ぶ意義を認め、経済学上において、なぜ必要なのかを説明できるようにする。
 - 目標8 経済の授業終了時には少なくとも一つの事例を挙げながら経済の歴史を説明することができる。
 - 目標9 歴史的な視点を踏まえつつ、今後のグローバル経済と日本経済のあり方を議論することができる。

提出課題

- 【毎回課題】
- ・毎回の授業後にその日の授業内容を簡単に振り返りと感想・質問・不明点をレスポンドで回答します。
 - ・詳細は毎回授業で説明します。
- 【中間試験】
- ・学期半ばで中間試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
 - ・持ち込みは「全て可」で検討しています。
- 提出にはスマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を用います。電子機器類を持参してください。提出期限が守れない場合は未提出扱いとなります。提出期限の延長はいかなる要望にも応じません。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- 【毎回課題（レスポンドで回答）】
- ・毎回の課題は授業中にその日の授業内容を簡単に振り返りと感想・質問・不明点は翌週以降の授業で回答します（ただし回答数が多い場合には代表的な質問・不明点のみを取り上げ回答します）。
 - ・課題の回答はクラスの皆さんとシェアします。シェアを前提に回答してください。
- 【中間試験】
- ・中間試験を行った場合には翌週以降に講評をおこないます。

評価の基準

- 【平常点】 20%
- ・授業への参加度（受講態度）および毎回課題での質問や感想内容で評価します。
 - ・授業受けずに課題を提出した場合はカンニング行為とし、平常点を0とします。
 - ・私生活や他の受講生の迷惑になるような行為は厳禁に慎んでください。
 - ・授業中に私語がない場合、授業協力度として、全員に「+」を付与することがあります。
- 【中間試験】 40%
- ・学期半ばで中間試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
- 【学期末定期試験】 40%
- ・試験期間中に学期末定期試験を行います。
 - ・学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。
 - ・持ち込みは「可」電子機器類は「持込不可」です。
- 【ボーナスポイント】（最大15%）
- ・加点課題を指定することがあります。
 - ・任意課題ですので、意欲のある人のみ提出することができます。
 - ・成績評価は平常点、中間試験、学期末定期試験、加点課題を中心に総合的に勘案して行います。
 - ・成績評価の方法（加点課題等）は初回の授業で説明します。
 - ・毎回課題の回収はレスポンドで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。持っていない場合も当日配布規定の紙を配布します。
 - ・学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。

履修にあたっての注意・助言他

- 【受講のルール】
- ・服装（がまも含む）は厳禁です（水分補給のための飲み物は認めます）。
 - ・受講中のイヤホンの着用は厳禁です（ただし聴覚等に障害がある場合は認めます。事前に申し出てください）。
 - ・他の受講生に迷惑がかかるので、講義中の私語は厳禁です（ただし討論を行う時はこの限りではありません）。
 - ・ミッドパワーで私語による音響による音響がなければ、受講から予告なしに離席座定を行うことがあります。
 - ・常に授業中に私語がない場合は、授業協力度として、全員に「+」を付与することがあります。
 - ・他の受講生に迷惑がかかるので、授業中に携帯電話やスマホの着信音やチャタター音を鳴らさないようにしてください。
 - ・スマホをスマホで静止画撮影するのは認めますが、その場合、マナーカスラのアプリを使用してください。
 - ・動画撮影は認めません。
 - ・座席のある学生がいれば申し出てください。
 - ・体調不良で欠席した場合は医療機関の診断書等を提出してください。
 - ・忘れ・公式紙・真偽試験・教育実習等で欠席した場合には証明書を提出してください。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.グローバル経済の歴史。	河崎信樹・村上衛・山本千映	有斐閣	3080	978464122148
.なぜ豊かな国と貧しい国が生まれたのか。	ロバート・C・アレン著、グローバル経済史研究会訳	NTT出版	2090	978475712304
.日本経済史。	宮本又郎編著	放送大学教育振興会	2970	978459531363

その他

- 【配布資料】
- ・配布資料は授業時に適宜配布します。また必要に応じてRYUKA Portalのキャンパスクロスにアップします。
 - ・参考文献
 - ・授業時に指示しますが、高校歴史の教科書、資料集類をあげておきます。例えば以下のような文献をあげておきます。
 - ・日本史入門 佐藤謙之輔著(2023)『詳説日本史』山川出版社。ISBN 978-4-634-70121-2
 - ・世界史探究 木村浩一編著(2023)『詳説世界史』山川出版社。ISBN 978-4-634-70131-1
 - ・歴史総合 久保文明、中村尚史ら編著(2022)『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』山川出版社。ISBN978-4-634-70112-0

授業計画

- 【第1回】オリエンテーション
- ・予習内容 Webシラバスをよく読んで、講義に臨んで下さい(120分)。
 - ・復習内容 成績評価、定期試験について、配布プリントを読み返してください(120分)。
- 【第2回】 一日の生活を振り返ってみよう
- ・予習内容 皆さんがソーシャルメディアにアップするような内容はなにかを振り返っておいてください(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、重要な概念、用語や人物を整理してください(120分)。
- 【第3回】 歴史を学ぶ意義はあるのだろうか？
- ・予習内容 なぜ歴史を学ぶことが大切なのか考えて、講義に臨んでください(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、歴史を学ぶ意義を学問的な観点から説明できるようにしてください(120分)。
- 【第4回】 経済史を学ぶ意義はあるのだろうか？
- ・予習内容 「経済学入門」や「マクロ経済」などならった知識をもとにGDPの定義を振り返って、講義に臨んでください(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、経済学上における経済史を学ぶ意義を自分なりにまとめておいてください(120分)。
- 【第5回】 なぜ昔は豊かだったのに貧しい国になったのだろうか？
- ・予習内容 「貧しさ」とはなにか、自分なりに考えて、講義に臨んでください(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、授業でとりあげた重要な概念、用語や人物を整理してください(120分)。
- 【第6回】 歴史のみた特別：地域別にあたりのGDP推移を振り返ってみよう
- ・予習内容 世界地図や地球儀を眺めて、現在の世界の人口分布を調べて、講義に臨んでください(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、授業でとりあげた重要な概念、用語や人物を整理してください(120分)。
- 【第7回】 中国のまとめ
- ・予習内容 これまで配ったプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んで下さい(120分)。
 - ・復習内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようにしてください(120分)。
- 【第8回】 ネットなどを使いながら、日本の古代から現代までの時代区分を調べて、講義に臨んで下さい(120分)。
- ・予習内容 ネットなどを使いながら、日本史の時代区分を調べて、講義に臨んで下さい(120分)。
 - ・復習内容 ネットなどを使いながら、授業でとりあげた重要な概念、用語や人物をノートに整理してください(120分)。
- 【第9回】 ネットなどを使いながら、1400年代、1500年代のグローバルヒストリーを調べて、講義に臨んでください(120分)。
- ・予習内容 ネットなどを使いながら、1400年代、1500年代のグローバルヒストリーを調べて、講義に臨んでください(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、それぞれ国・地域が海外進出した背景と影響をノートに整理してください(120分)。
- 【第10回】 戦国・江戸初期の日本はどのような地域となっていたのだろうか？
- ・予習内容 株式会社の特徴を調べて、講義に臨んでください(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、戦国・江戸初期に日本が輸入し物品をノートに整理してください(120分)。
- 【第11回】 戦国以後の江戸時代と日本とその国・地域となっていたのだろうか？
- ・予習内容 前配配布したプリントをつかひながら、どのような展開が想定されるのか考えて、講義に臨んでください(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、講義で紹介した地名や物品をネットなどをつかひながら確認しておいてください(120分)。
- 【第12回】 江戸時代に経済は豊かになったのだろうか？
- ・予習内容 ネットなどを使いながら、江戸期日本の農業のあり方を調べて、講義に臨んで下さい(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、江戸期日本の17世紀成長と18世紀成長をノートにまとめてください(120分)。
- 【第13回】 過去における日本人のどのような史料資料の歴史を著していたのだろうか？
- ・予習内容 自分がかよくする處の史料を調べて、講義に臨んで下さい(120分)。
 - ・復習内容 授業で紹介した専ら日本の主要輸出品と輸入品をみて、明治政府はどのように対処したのか考えてください(120分)。
- 【第14回】 日本の工業化はどのように推進されたのだろうか？
- ・予習内容 日本で行われてきた工業化された産業を、ネットなどを使いながら調べて、講義に臨んで下さい(120分)。
 - ・復習内容 配布プリントを使いながら、講義で紹介した地名、人物や企業をネットなどをつかひながら確認しておいてください(120分)。
- 【第15回】 全体のまとめ
- ・予習内容 これまで配ったプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んで下さい(120分)。
 - ・復習内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようにしてください(120分)。
- 【学期末定期試験】
- ・学期末定期試験は「レクチャー（レスポンド）をつかひます。
 - ・なお授業テーマについては、学生の理解状況にあわせて、変更・割愛される場合があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を受講することで、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「(2)知識を知恵に転換することができる、論理的思考を持った人材」と「(3)創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材」に寄与することができるようになります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 【ICT活用】
- ・毎回の課題回収はレスポンドで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。

実務経験の有無及び活用

ありません。

備考

特ありません。